### ATLAS-Things 料金プラン(定価)

プラン名称	月間最大入出荷数	初期費用	月額料金
Starter-Small	20,000		¥50,000
Starter-Medium	50,000	¥50,000 × API キー発行数	¥122,000
Starter-Large	100,000		¥234,000
Professional-Small	250,000		¥420,000
Professional-Medium	500,000		¥546,000
Professional-Large	750,000	又はアカウント数	¥630,000
Enterprise	1,000,000		問い合わせ

<sup>※</sup>初期費用はアカウント作成やローカル端末の API キー発行手数料などを含む

## 価格構成例(固定式 RFID リーダーを4式利用する場合)

	初期費用	数量	小計
ATLAS-Things	¥0	1	¥0
API キー発行	¥50,000	4	¥200,000
エッジ端末	¥650,000	4	¥2,600,000
SIM	¥3,000	4	¥12,000
初期費用合計		¥2,812,000	

月額費用	数量	小計
¥50,000	1	¥50,000
¥0	4	¥0
¥0	4	¥0
¥2,000	4	¥8,000
	月額合計	¥58,000

#### 関連ハードウェア・タグ

#### UHF 帯固定式 RFID リーダー

Impinj Speedway R420



# UHF 帯ハンディ RFID リーダー Zebra Technologies RFD8500



# UHF 帯 RFID プリンタ

Zebra Technologies





ZT410R

#### UHF 帯 RFID タグ









## 問い合わせ先



#### 菱電商事株式会社

〒170-8448 東京都豊島区東池袋 3-15-15 TEL:03-5396-6220





contact@atlas-things.jp

https://atlas-things.jp



複数の拠点でRTI\*の 入出庫を記録することにより、 各拠点での在庫を把握することが可能となります。

ATLAS-Things は RFID やバーコードに代表される 自動認識技術を活用したクラウドサービスです。

※RTI は Returnable Transport Item の略。 リターナブル容器・パレットのこと

# ATLAS-Things を導入すれば・・・

# **Trouble**

# Solution





# できること

入出荷の確実な記録

拠点ごと在庫数の把握

BI ツール活用

# 期待すること

紛失・未返却の抑止 RTI の関税還付

> 適正在庫の実現 過剰購入の削減

在庫状況の可視化 トレーサビリティ

月額 **5万円** から

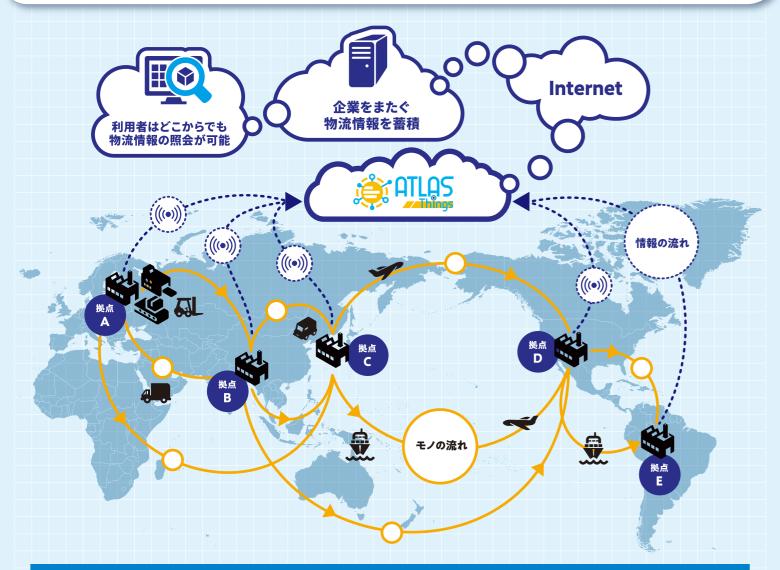
管理費 維持費 **不要** 

国際標準規格 (ISO/GS1) 対応

<sup>※</sup>エッジ端末にはLANケーブルや設置費用などは含みません。

<sup>※</sup>エッジ端末は「LTE ルータ」「RFID リーダー」「RFID アンテナ4式」「WindowsPC」で構成されます。

# 従来実現できなかった「モノ」= RTIの動きを「見える化」します。

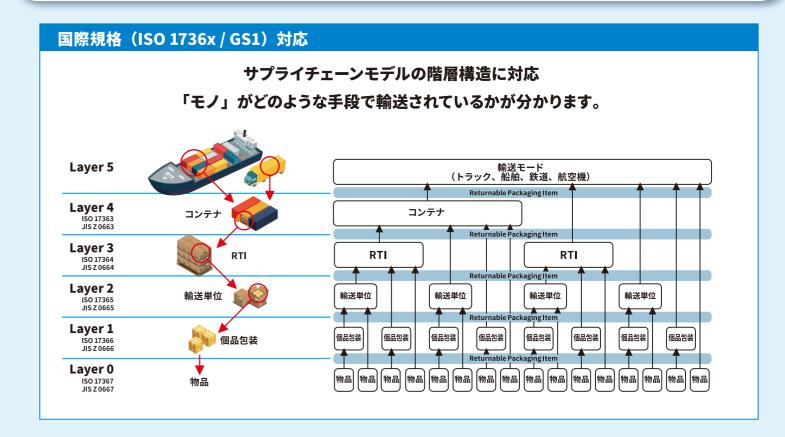


### クラウドサービスのメリット

- グローバル拠点のどこからでもアクセス可能です。
- 24 時間 365 日サービスの稼働を監視しています。
- 複数のデータセンターにデータを分散していて安全です。

# 活用シーン RTI 管理 自社所有 RTI はメンテナンスを伴う長期的なトレースを実現します。 サプライヤ所有 RTI は短期的なトレースを実現します。 機点 B 地高 地高 地高 サード B 地高 サード B 地高 サード B 地高 サード B 地高 オイント サード B サイント サイント

# クラウドサービスにより、小規模から大規模まで、安価かつ迅速に実現いたします。



#### WebAPI 公開

エッジ端末側アプリケーションをお客様で開発可能です。 RFID Reader、Barcode Reader 等の既存資産を利用可能です。

#### BIツール連携

データエクスポート機能を標準装備しています。 そのため、各種 BI ツールにてインポートして 自由に分析することができます。

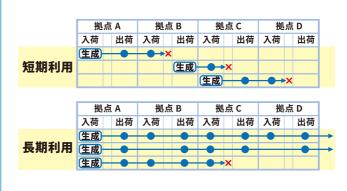


見える化画面例



#### トレーサビリティ

様々なライフサイクルを持つ個品の入出荷を トレースすることができます。



#